

環境コミュニケーション

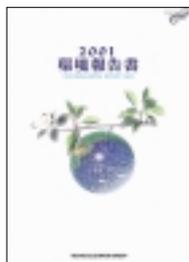
環境に関する基本理念・環境方針・環境保全推進状況を、社会へと積極的に発信していくことが、活動推進の原動力となると考えています。

環境コミュニケーションの考え方と環境報告書の発行

当社グループでは、事業活動によって発生する環境負荷を最小限にすると共に、健康・安全への取り組みも積極的に行っています。これらの活動をより効果的に推進していくためには、事業活動と関わるすべての皆様へ、できるだけ多くの情報を発信し、共有化を行って、コミュニケーションを深めていくことが不可欠です。当社グループでは2000年より環境報告書を発行して、情報開示に努めています。



環境報告書2000



環境報告書2001

インターネットでの情報公開

環境報告書は、当社グループホームページ上でもご覧いただけます。また、環境会計の推移もインターネット上で公開していく予定です。



<http://www.tel.co.jp>

SEMI井上皓EHS賞

SEMI井上皓EHS賞は、半導体業界の中で一年を通じて世界で最もEHSの発展に貢献した個人またはチームに対して、毎年12月に授与されます。東京エレクトロン(株)前社長の井上皓が、生前に業界へEHS活動を深く浸透させるために活動したことから、本賞が設けられました。第1回の受賞者は、業界におけるEHSの慣行と理念の向上のため、長期間におよび幾度も経営層への説得を繰り返した伊、仏合弁半導体メーカーST Microelectronics社のPistorio社長、2001年にはIntel社のBarrett社長が受賞しました。

SEMATECHへ装置環境対策セミナーを実施

「SEMATECH」は、米国、欧州や韓国・台湾で事業を行っているデバイスメーカーで構成される団体です。EHS分野で多くの活動を行い、装置メーカーに大きな影響力を持っています。LCA法を取り入れて、装置の環境側面を分析し、環境対策につなげている当社グループでは、2001年8月にSEMATECHに対する装置環境対策セミナーを実施し、高い評価をいただきました。2003年にはSEMATECHでもLCAを実施する予定です。

台湾で環境・健康・安全セミナーを実施

2001年11月に台湾の新竹市で、台湾のお客様、特にEHS担当者を対象に、「2001年TEL環境・健康・安全セミナー」を実施しました。安全最優先を掲げる当社グループでは、従業員だけでなく、お客様の安全と健康を常に重視しています。

社内報の有効活用と「EHSタイムズ」の発行

EHSについてより強く意識して活動してもらおうと、社内報に「Welcome to EHS」と題した記事を連載しました。環境安全推進センター員などが、「環境保全活動と環境報告書」、「安全教育について」、「事故報告の意義」などEHSを理解する上で重要なトピックスを取り上げて解説しました。また、環境安全推進センターでは2カ月に1回「EHSタイムズ」を発行しています。環境安全推進委員会での審議内容などをわかりやすく紹介するほか、「EHSひろば」など、紙面上に意見交換の場も設けています。



社内報「AEOLUS」に連載の環境記事



「EHSタイムズ」